



2019年9月12日

各位

会社名 株式会社クロスフォー
 代表者 代表取締役社長 土橋 秀位
 (コード番号:7810 東証 JASDAQ)
 問合せ先 取締役 米光 信彦
 (TEL.057-008-9640)

貸倒引当金の計上及び2019年7月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年7月期決算において、下記のとおり貸倒引当金を計上することとなりましたので、お知らせいたします。また、2019年3月12日付で公表しました2019年7月期通期業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

株主、投資家を始めとする関係者の皆さまには、多大なるご迷惑、ご心配をお掛けしておりますことを心からお詫び申し上げます。

記

1. 貸倒引当金繰入額の計上について

当社の海外販売代理店1社に対する売上債権について、中国の外貨移動制限などにより回収遅延が発生しております。当該債権については、実行可能な回収手段を検討し、多様な施策を実行してまいりました。しかし、現時点における当該回収手段の実現可能性等に鑑み、会計上、予想可能な期間内の合理的な回収策が未定であることから、当該債権について貸倒引当金繰入額 56 百万円を販売費及び一般管理費に計上いたします。

2. 通期業績予想の修正

2019年7月期通期連結業績予想数値の修正(2018年8月1日～2019年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純 利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,825	157	141	25	1.50
今回修正予想(B)	3,493	61	49	13	0.82
増減額(B-A)	△331	△95	△91	△11	
増減率(%)	△8.7	△60.8	△64.8	△45.5	
(ご参考)前期実績 (2018年7月期)	4,063	234	220	117	7.02

(注)当社は、2018年2月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、2018年7月期通期連結業績の1株当たり当期純利益については、2018年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2019年7月期通期個別業績予想数値の修正(2018年8月1日～2019年7月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,796	200	79	4.78
今回修正予想(B)	3,484	67	23	1.43
増減額(B-A)	△312	△133	△56	
増減率(%)	△8.2	△66.5	△70.1	
(ご参考)前期実績 (2018年7月期)	4,005	277	173	10.37

(注)当社は、2018年2月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、2018年7月期通期個別業績の1株当たり当期純利益については、2018年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

3. 修正の理由

国内向け製品販売は、米中貿易摩擦の激化による世界経済の先行き不安に起因する消費マインドの低下などにより、想定を下回る集客、客単価であったため、当社売上高は減少しました。また、2019年7月期に販売を開始したテニスプレスレットに関しましても、生産体制の構築の遅れが想定よりも長期化し、当該製品の売上高は計画を下回りました。

海外におけるパーツ販売の売上高は、新しい市場の開拓に成功し、売上高は国内に比して比較的堅調に推移しましたが、米中貿易摩擦の激化による中国市場の需要減少の影響は大きく、国内売上高の減少をカバーするには至りませんでした。

一方、各段階利益につきましては、売上高の減少による減益をカバーするため、販売費及び一般管理費の支出を抑制し、また製品在庫の削減により評価損ロスを低減させるなどして減益をカバーしてまいりましたが、上記のとおり海外販売代理店への債権について貸倒引当金繰入額を計上したことから、上表2の予想となりました。

4. 今後の対応

海外販売代理店に対する債権回収については、中国の金融政策の動向を継続的に注視し、引き続き適切な回収方法を検討していきます。また、カントリーリスクを伴う取引に対しては、より実効性の高い総合的なリスク管理体制の構築に努めてまいります。

5. 配当予想について

2019年7月期の期末配当金につきましては、2019年3月12日公表のとおり、1株あたり0.30円の配当を予定しており、変更はございません。

(注)本資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在において得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な原因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上